



剛氣果敢

神奈川県大学体育会剣道部通信

令和2年12月25日 第10号
 発行人 神奈川県大学体育会剣道部
 部長 望月 耕太
 編集人 広報委員長 小山 篤
 net34186@ai.ayu.ne.jp
 090-2668-0189



第10回 東都学生剣道優勝大会

男子団体戦優勝

男子個人戦 山田雄志選手が優勝

女子個人戦 蒲谷朋世選手が第3位に入賞

部長 望月 耕太 主体的な稽古実る

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な大会が中止に追い込まれ、東都学生剣道優勝大会は、本学の部員が今年度最初に参加できた大会でした。大会に参加できた部員も応援に駆けつけた部員も、大会に出られずに引退してしまうことになった4年生の思いを背負っていたように思います。今大会では、男子は個人・団体戦いずれも優勝を果たし、女子も個人戦で上位入賞を果たすことができました。この結果は、日々の保護者や卒業生の皆様の応援、ご協力のおかげであることはもちろんのこと、各部員が十分な練習がままならない状況にも関わらず、主体的に剣道に向き合い取り組んだ結果であると感じております。

私自身部長就任後、初めての大会観戦であったため、この日を本当に心待ちにしておりました。改めて、剣道とは一瞬の油断も許されない、真剣な思いのぶつかり合いであることを実感いたしました。保護者や卒業生の皆様も今後の部員たちの活躍をどうぞ見守ってください。

監督 伊藤 龍紀 感謝忘れずに稽古

令和2年、新型コロナウイルス感染拡大により、剣道部の活動は2月10日から9月11日までの約7ヶ月間、休止を余儀なくされました。大学の許可を得て、ようやく9月12日から活動再開を果たすことが出来ました。あくまでも本人の自主参加（要保護者同意）による活動として、湘南ひらつかキャンパス剣道場において、様々な感染防止対策を講じた中での稽古再開となりました。参加した部員は稽古が出来ることへの感謝を忘れずに稽古に励みましたが、神奈川県・関東・全国の大会が全て中止になる中で、部員のモチベーションを維持することは大変難しい状況にありました。しかし、3年生を中心として、剣道の地力をつけるべく、各人が具体的な目標を持って稽古に取り組みました。結果として、男子団体戦優勝、男子個人戦優勝、女子個人戦3位の好成績を残せたのも、参加部員の稽古に対する意識の高さの結果と感じております。今後も今回の結果に満足することなく、指導者学生一体となって、目標達成に向けて引き続き稽古に精進まいります。



14大学が参加した大会 開会式



男子団体戦、試合の開始で整列する本学の選手たち

第十回東都学生剣道優勝大会が十一月十四日、埼玉県城西大学の体育館で開催され、本学は男子団体戦で優勝。男子個人戦は山田雄志選手（3年・神奈川県・秦野高校出身）が優勝、女子個人戦では、蒲谷朋世選手（3年・神奈川県・弥栄高校出身）が第3位に入賞しました。コロナ禍の中、検温、ソーシャルディスタンスを保ちながらの大会には、本学は初参加。十四大学が参加して男子団体戦で本大学は、予選リーグを一位で勝ち上がり、決勝トーナメントでは、亜細亜大学との決勝戦に前半戦から優位に進め、快勝しました。